(油) に		由門学校	開講年度	令和03年度 (2)))))1年度\	授業科	目総合英語	五 五		
科目基礎		専門学校	川神平茂	」⊅和U3年岌(∠	<u>/U/1平</u> 皮)	坟耒州	日 松古央記	<u> </u>		
	ETI月¥仅	0004			科目区分		/ . \			
授業形態	以目番号 0004 空業形態 講義				単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と単位の種別と対象を表現る		<u>/ 必修</u> 単位: 2			
開設学科					対象学年	専1	+12:2			
開設期					週時間数	2				
教科書/教	 材	10.00	its from the teach	er)	,C 31-327					
担当教員		倉増 泰弘	ム,リーヒ゛ス カーティス	,						
到達目標		•								
This coursextensive	se will help business vocabular	students vocabulary y that com	learn and apply ef is important for in Imonly appears or	fective TOEIC tes nproving TOEIC t n TOEIC tests.	t-taking strategi est scores, so st	es in order t udents will a	o improve the also spend con	ir scores. Building an siderable time using and		
<u> </u>	, , ,		理想的な到達レ	ベルの目安(優)	標準的な到達し	 ベルの目安(良	表到達1			
評価項目1 Test Strategies and Time Management			Able to effective	rely employ test- es and manage	標準的な到達レベルの目安(良) Able to employ test-taking strategies and manage test time, though student sometimes struggles to manage both simultaneously.		t Unable	to employ test-taking ies and manage test		
評価項目2			Can solve lister accurately (mo correct).	ning problems ore than 80%	somewhat accu	Can solve listening problems somewhat accurately (more than 60% correct).		solve listening problems ely (Less than 60%).		
評価項目3			Can solve read accurately (mo correct).	ing problems re than 80%		solve reading problems what accurately (more		solve reading problems ely (Less than 60%).		
到達目標 / JABEE f	A 2	目との関	係							
教育方法	5等	T	pper=/ "		. =	Im 1 —				
概要		TOEI 習が不可	Cの問題形式と特徴 欠であり、そのため	yを理解し、スコア oの勉強方法の習得	470点以上を目 も目指す。	標とする。ま	た、スコアアッ	プには授業以外の自学自		
授業の進め	か方・方法		を使用し、テスト根 を行だけでなく、1			探る。リスニ を取り入れる	ング、りーディ 。さらに、TOI	ングの方略について実践 EIC関する課題を自学自習		
注意点			ork (40%) + Quizz	zes (40%) + Parti	icipation (20%)					
授業の属	性・履修	上の区分		,						
	イブラーニ		□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応	5	□ 実務	経験のある教員による授業		
授業計画	 I I									
人不可巴	<u> </u>	週	授業内容			週ごとの到達				
後期		1週	Introduction				Students will learn the class structure, grading,			
	3rdQ !	2週	Unit 7: Reading T	nit 7: Reading Test Part 7 (Reading			and online tools. Students will scan the questions to decide which ones to answer first.			
		3週		omprehension) nit 7: Reading Test Part 7 (Reading			Students will scan the questions to decide which ones to answer first.			
		4週		nit 5: Reading Test Part 5 (Incomplete			Students will identify parts of speech; manage test time effectively.			
		5週	,	nit 4: Listening Test Part 4 (Talks)			Students will skim to predict the context before listening.			
		6週	Unit 3: Listening	nit 3: Listening Test Part 3 (Conversations)			Students will skim to predict the context before listening.			
		7週	Unit 2: Listening	nit 2: Listening Test Part 2 (Question-Response)			Students will analyze the meaning of factual questions.			
		8週		nit 6: Reading Test Part 6 (Text Completion)			Students will use context to choose the correct verb form and meaning.			
		9週 10週	Unit 1: Pictures		Students will identify key words from context.					
	4thQ	11週	Practice Test 1 Unit 14: Reading Comprehension)	nit 14: Reading Test Part 7 (Reading			Students will use context to answer vocabulary questions.			
		12週		nit 12: Reading Test Part 5 (Incomplete			Students will choose gerunds and infinitives correctly.			
		13週	,	nit 11: Listening Test Part 4 (Talks)			Students will become familiar with different kinds of "what" questions.			
		14週	Unit 10: Listening	nit 10: Listening Test Part 3 (Conversations)			Students will practice being aware of same word distractors.			
		15週	Unit 9: Listening	nit 9: Listening Test Part 2 (Question-Response)			Students will become familiar with different ways of answering direct questions and become aware of similar-sounding words.			
		16週	Review							
モデルニ	1アカリキ		学習内容と到達							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目	標			到達レベル 授業週		

日常生活や身近な話題に関して、毎少可の意見や感想を基本的な表 4 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度ではっきっとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで 4 見速用いて 英語できる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 4 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる 4 元の基礎図 が 100語程度の速度を100語程度の速度で開き手に伝わる 4 元を読み取ることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 4 四国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 6 自分の専門分野などの予備知識のある内容で関して、概要を担 2 提し、情報を聞き取ることができる。 6 自分の専門分野などの予備知識のある内容で関して、概要を担 2 提し、情報を聞き取ることができる。 英語でディスカッション心要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などがで 4 きる 5 乗 でディスカッション心要に応じてディベートを想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常のな質問や応答などがで 4 連 1 乗 1 乗 2 乗 2 乗 2 乗 3 乗 3 乗 3 乗 3 乗 3 乗 3 乗 3								•	
現在用いて英語で話すことができる。				E	日常生活や身近な記 りとした発音で話さ きる。	題に関して、毎分 れた内容から必要	100語程度の速度 な情報を聞きとる	ではっき ことがで 4	
大文・社会 英語 英語 英語 英語 英語 英語 英語 英								本的な表 4	
本語の表示と思うができる。									
100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 日知国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 日分の専門分野などの予偏知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 関山のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に図密して書くことができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のブレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のブレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のブレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適けに用いることができる。							の概要を把握し必	要な情報 4	
画で積極的にコミュニケーションを図ることができる。									
基礎的能力				£ Ē	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。			実際の場 4	
英語運用能力的上のための学習 英語運用能力的上のための学習 英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。				7	する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把			事柄に関 概要を把 4	
英語運用能力向上のための学習	基礎的能力科	文・社会 学 英語	語	, ,	英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。				
大向上のための学習				1	英語でディスカッミ 学生自ら準備活動や ・	/ョン(必要に応じて 情報収集を行い、	てディベート)を行 主体的な態度で行	うため、 動できる 4	
日本のののでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは				力の上のたりのです。	母国以外の言語や文 で英語で円滑なコミ	て化を理解しようと シュニケーションを	する姿勢をもち、 とることができる	教室内外 4	
のやりとりができる。 関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。 実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。 評価割合					イティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。				
実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 切に用いることができる。 評価割合					関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。				
(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 4 切に用いることができる。 評価割合					関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル などの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。				
					(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適 4				
	評価割合								
試験 (Quizzes) 発表 (Homework) 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 (Participation) 合計		試験 (Quizz	zes) 発達 (Ho	₹ omework)	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他 (Participation)	合計
総合評価割合 40 0 0 0 20 100	総合評価割合	40	40		0	0	0	20	100
基礎的能力 40 40 0 0 0 20 100	基礎的能力	40	40		0	0	0	20	100
専門的能力 0 0 0 0 0 0 0 0	専門的能力	0	0		0	0	0	0	0
分野横断的能力 0					1			l	1